

報道関係者各位

2021年12月9日

ヤナセオートシステムズに輸入車初の「レストア車両適合証明書」を**テュフ ラインランド ジャパンが発行**

株式会社ヤナセ（社長：吉田 多孝）のグループ会社、株式会社ヤナセオートシステムズ（社長：江花 辰実）が運営する「ヤナセ クラシックカー センター」がレストアを行ったメルセデス・ベンツ 190SL（1958 年式）の車両に対し、テュフ ラインランド ジャパン株式会社（社長：トビアス・シュヴァインフルター、本社：神奈川県横浜市）から、「レストア車両適合証明書」が発行されました。



国内のテュフ認証環境の下でレストアを行い、適合証明書が発行されたのは輸入車で初めてです。「レストア車両適合証明書」は、テュフ ラインランド ジャパンから「クラシックカーガレージ認証」を受けた工場で、レストアされた車両が対象。レストア作業レポート（顧客要望に対する整備記録）が審査され、基準に適合したことを証明するものです。

また「クラシックカーガレージ認証」は、クラシックカーの修理・整備などを行う工場に対し修理・整備の技術、品質、機器・設備に加え、運営・管理、法令順守、お客さま対応など 11 カテゴリー150項目以上の基準に基づいた監査を実施し、クリアした工場に与えられる認証です。ヤナセ クラシックカー センターは 2018 年 4 月に新設。同年 6 月に、クラシックカーガレージ認証を取得しました。

レストア作業は、お客さまのご要望を細部まで実現できるよう進捗状況の確認を重ねて完成させています。ヤナセは今後も技術や知識を活用し“乗って楽しむクラシックカー”をご提供していきます。

【テュフ ラインランド グループ概要】

テュフ ラインランドは、145 年の歴史を持つ世界でもトップクラスの第三者検査機関。第三者検査のエキスパートとして品質、安全、環境、テクノロジーを支えています。自動車分野ではドイツで運転免許試験を行い、数カ国で車検サービスを提供しているほか、自動車メーカーや部品メーカー向けの国際連合と欧州型式認証の技術機関としても活動。板金塗装工場向けの監査・認証サービスに加え、ドイツでは第三者アジャスターサービスを、そして世界各国でディーラーや一般整備工場向けの監査・認証サービスを提供。現在、クラシックカーの評価・査定サービスも提供しています。

【ヤナセオートシステムズ概要】

2007 年にヤナセの輸入車部品用品卸売事業を分社し、株式会社ヤナセオートパーツとして発足しました。2011 年にヤナセの BP 事業を統合して現在の社名に変更。部品用品卸売事業、BP 事業、タイヤ・カーケア部門を所管し、北海道から沖縄まで全国 10 カ所の直営 BP 工場、7 カ所のエリアセンターを従業員約 400 人で展開しています。 ※BP : Body Repair & Painting の略、車両板金塗装